

琉球新報 2014年12月28日



度も高く、すごい速
に。メディアの注目
る会を企画すること
う」この提案から、語

きき
紀々

「哲楽家」

「ラララ、りうばう」と
「ソニー坊や」。これは20
14年のマイ流行語大賞！
「ラランララン」のフレー
ズを、こんなにあちこちで歌
うことになるなんて…。

ソニー坊やは、電波堂とい
う電器店を営んでいた私の亡
き祖父が、約50年前に交通安
全のために建てたコンクリー
トの像です。祖父の足跡をた
どる取材を進める中で、友人
の吉澤直美さん（ローフード
マイスター）が、思いがけず
ソニー坊やの追っ掛けをして
いたことが判明し、事態は急
展開。ほかにも追い掛けてい
る人たちがいます。声を掛け
て一度集まりましょ

教えて、ソニー坊や

東風

さで情報も集まり始めました。
SNSと新聞を見て集まっ
てくれたのは、ボランティア
で移設・修復やペンキ塗り替
えなどをしてくださった方
々。私が会いたい・知りたい
と思っていた人と情報が一度
に集まってくれたことは、ま
さにミラクル。その後、ソニ
ー坊やを季節ごとに衣替えし
大切にしている西原町兼久の
さわふじ中央通り会の皆さん
にもお会いできました。文化
財に落書きされる事件もある
現代に、ペンキ代を割り勘で
負担してまで塗り替える方々
がいるのはなぜ？

「いま流行の『ゆるキャ

ラ」とは異なる魅力があるよ
うに思います。『まじキャ
ラ』かな？」とのコメント
は、以前にソニー坊やを特集
された週刊レキオの当時の編
集長より。モノではなく、友
達に近い感覚のようです。そ
して私は、ソニー坊やに会う
と祖父に会えたような気持ち
になります。

ソニー坊やを語る方々のう
れしそうな表情を見ている
と、その向こうに「現代が忘れ
てしまった大切な何か」があ
るように思えてなりません。

みんなを笑顔にするソニー
坊やへ。来年もその秘密を教
えてね！

1975年那覇市生まれ。98年早稲田大学第一文学部
哲学科東洋哲学専修卒業。企業のテーマ曲制作の依頼を
機に、現在は哲楽と「うた」を取り入れた講演を行う。
2004年7月から12月まで「南風」執筆。